

新川

グループ6社統合しデータ共有 顧客満足度や業務効率高める

宝飾・時計販売の新川グループ6社は6月30日付で中核の新川（安佐南区相田1-15-21、工藤清恵社長）1社に統合した。新体制発足に伴い、これまで各社が紙で管理していた顧客データを電子化。来店受付や取引履歴を確認する時間を削減し、顧客満足度アップや従業員の作業効率化のほか、スタッフ一人一人が「ジュエリードクター」として技術やアドバイスの精度向上につなげる狙い。

これまで同グループでは相互の競争力を高めるため、1970年の本店設立以降、可部、本通り、西条など6店が別会社として独立採算制を採用していた。工藤社長が引き続き社長を務める。集約後の新川社の資本金・売上高・従業員数は非公表。

常連客が別店舗に訪れるケースもあり、顧客情報の入手や確認に多くの時間を割いていた。業務効率化により、近年引き合いが増えた修理、リメイクへの対応や、宝飾品、時計の修理預かり品を受ける際の重要な写真撮影に時間を充てる。来年には新たに会員証を発行予定。来店時の提示で顧客情報を記入してもらう手間がなくなり、スタッフは過去の購入・メンテナンス履歴などの確認や共有ができる。このほか管理部門でも勤怠管理システム「ハモス」を導入して紙製のタイムカードを廃止。工藤社長は「当初はHDD化も視野に入れていたが、より一体感を持

たせたい」と新川へ集約させる形にした。当面は私以外に役員がいない状況だが、今後はこれこそという人を年齢に関係なく積極的に登用していく。また働き方改革にも力を入れ、有給休暇の取得推進やベースアップ（5%）もできれば。顧客はもちろん、働く仲間とも長く深い関係を築いていきたい」と話した。

本社に新工房

3月15日には本社2階に工房「あとえ。SHINKAWA」を開設した。

面積16平方メートル。近年はリメイク需要や自分好みのデザインを要望する声が多いことから、新たにレーザー彫刻機を導入したほか常駐する職人らが直接商談に応じるスペースを設置。加えて地元の小中学生を招いた職場体験会も見据えており、日本の伝統技術である時絵（ときえ）などをリメイクした作品や金の歴史を学べる展示物、手作り体験コーナーも設けている。



原田組の地域貢献型
広銀が私募債を受託
の原田組（安佐南区古市、高橋秀彦

Data System Solution
良いものを形に、
実りのあるものを形に

システムインテグレーション (DX推進)

医療ソリューション (給食の「匠」Pro)

BPOサービス (ビジネス・プロセス・アウトソーシング)

データシステムソリューション株式会社

広島市西区横川新町7-1

TEL082-234-4028 FAX082-234-7788

原田組の地域貢献型
広銀が私募債を受託
の原田組（安佐南区古市、高橋秀彦

社長）が3月31日に発行した第1回無担保社債5000万円（地域まちづくり貢献型、期間5年）を引き受けた。

6月17日に高橋社長と広島銀行古市支店の山崎賢治支店長が子ども食堂でらこや（安佐南区、竹内智美代表）を訪れ、同食堂の看板と寄付金を渡した。同社は明治44（1911）年創業で、大型建築工事を専門に手掛ける。調達金は運転資金に充てる。

▽広島市産業振興センターは2025年度の新規ビジネス事業化の支援先を募っている。20年4月から今年7月の間に同センターや国、地方公共団体の支援を受け、試作品の開発が完了している新技術・新製品に対し、早期事業化のための資金助成、専門家による伴走支援を行う。従来はエコ、都市型サービスなど新成長ビジネス分野に限定していたが、全分野に範囲を拡大する。事業化戦略の策定や試作品の改良、販路開拓の経費などを対象に、2分の1以内で上限300万円。専門家の無料派遣は10回が上限。申し込みは7月18日まで。（電）082-278-8032。

▽県西部在住の慶応大卒業生らでつくる広島慶応倶楽部（大方幸一郎幹事長、大方工業所社長）は7月31日午後6時から、本年度の総会・懇親会をリーガロイヤルホテル広島で開く。総会後、6時15分から伊藤公平塾長の特別講演、7時から懇親会を催す。登録塾生に加え、その保護者や関係者など幅広く参加を募る。会費1万2000円。（電）082-282-4301（大方工業所・因幡）。



金に充てる。